

令和5年11月22日(水)

特別全国障害者スポーツ大会で2位！

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に出場した中山啓一さんが2位を獲得し、報告のため中村市長を訪問されました。



大会で中山さんは、フライングディスクのアキュラシー競技とディスタンス競技の2競技に出場し、5m先にある円形のゴールを狙ってディスクを10投連続で行う「アキュラシーディスリートファイブ」では6位、男女別に座位と立位の4区分で飛距離を競う「ディスタンスメンズ・スタンディング」では2位を獲得しました。

報告の中で中山さんは「県代表に選ばれると思っていたが、出場できてうれしい。当日肩を痛めて心配したが、良い結果が出せてよかった。また、大会のボランティアスタッフのかたがたの対応がとてもよかった」と出場の感想を手話で伝えてくれました。

市長は「県代表として出場されただけでなく、結果も出されて帰ってきてくれた。また、ボランティアのサポートに触れられ、感動されたというお話も聞けてうれしく思う。肩を痛めて2位ということなので、今回の経験をぜひ次につなげていただきたい。そしてこの競技のすばらしさを、中山さんが先頭に立って広めていただきたい」と述べました。

なお、今回の大会は2020年に開催予定だった大会が新型コロナウイルス感染症の影響により延期となったもので、当時一つ一つ心を込めて製作されたメダルが活用されています！